INFORMATION

LECTURE&EVENT

南船北馬一団　演劇公演「ナップサック全盛期」

舞台芸術祭に出演した南船北馬一団の新作。前作とは違った南船北馬一団の一面がみれるかも。
○２月27日(金)19:00～
　２月28日(土)15:00～、19:00～
　３月１日(日)13:00～、17:00～
○当日￥1700／前売り￥1500
○森内　℡06-771-5834

大阪ＮＰＯセンター「ＮＰＯの源流を探る～江戸期大阪町人の社会貢献活動」

阪大教授の宮本又郎さんを招いて、市民活動のひろがりと活動を啓発するための「ＮＰＯ市民講座」。
○３月７日(土)17:30～
○￥1000
○大阪NPOセンター　℡06-361-5307

朗読あめんぼ研究会「朗読あめんぼ研究生発表会」

同会研究生による「転生（志賀直哉作）」、「清貧譚(太宰治作)」などの朗読発表会。
○３月15日13:00～
○あめんぼ座　℡06-933-9735

【新入会員ご紹介】（1998年２月24日まで）

12月19日以降にご入会いただいた方々です。ありがとうございました。

○一般会員
【大阪府】
大山　まゆ　大阪市中央区
山岸　麻耶　大阪市中央区
石黒　良彦　大阪市天王寺区
安土明中子　大阪市生野区
中村　賢司　大阪市生野区
松元　泰樹　大阪市此花区
高橋　　恵　豊中市
浜田さえこ　摂津市
石川　信男　柏原市
中西　随博　河内長野市
平　　進自　高石市
【京都府】
今村　正也　京都市伏見区

○学生会員
【大阪府】
高山　奈己　大阪市此花区
以上13名、現在338名

インターメディウム研究所「CLOTHED　BODY」

インターメディウム研究所学生による修了作品展。一風かわったファッションショーです。
○３月20日(金)18:00～、20:00～
○当日￥2200／前売り￥2000
○明石　℡010-130-1580

大阪市社会教育主事会・教育シンポ「学びの再生と生涯学習」

東大教授の佐藤学さんを招いて、社会教育の裾野を広げ、近代教育をめぐる課題と学びの共同体論について語り合います。
○３月26日(木)18:30～
○￥500
○應典院

人形劇公演「リュウのオールド」

夢見る心が失われつつある現代社会。子どもだけでなく大人をも夢見る世界へと導きます。『リュウのオールド』は、夢見る心を取り戻すための物語です。
○３月28日(土)15:00～、18:00～
○3,200円
○関西こども文化協会　℡06-701-9292
※應典院にてチケット販売中。

生田流箏曲宮城社　ひまわり「ひまわりサロンコンサート」

関西で活躍する若手の演奏家による邦楽ライブ。
○３月29日(日)詳細未定。

じょんがら三味線聞きたい会「高橋竹善の会」

北のまほろばに来る春を望むかのように奏でられるじょんがら三味線。その音色をじっくり味わってください。
○４月２日(木)19:00～
○当日￥3500／前売り￥3000
※應典院にて予約受付中

寺子屋トーク第８弾「賢治の学校」代表　鳥山敏子さんを迎えて

子どものこころとからだが叫んでいる－。いま、家族の奥底で傷ついているものは何か。
宮沢賢治の願いを現代にたどりながら、「わたし＝世界」のつながりを問いなおす。すべての親、子ども、教師に贈る、待望の〈癒し〉の教育論！
○３月５日（木）10:00～12:00
○1,000円（会員500円）
※要電話予約
○寺町倶楽部事務局　℡06-771-7641
詳細は、同封チラシをご覧ください。
※鳥山さんの書籍を應典院にて販売中。ぜひお買い求めください。

仲田修子のライブを聴く会実行委員会「仲田修子ライブIN應典院」

東京のライブハウスを中心に活躍中の仲田修子の「黒人霊歌」「ブルース」のアコースティックライブ。
○４月17日(金)16:00～、19:00～
○当日￥3500／前売り￥3000

雑草たちのパラダイス「第１回　百姓のススメ」

命の循環を呼び戻そうという願いのもとに、「農」に関する活動をされている方々の集い。
○４月19日(日)11:00～
○￥2500
○雑草たちのパラダイス
℡0795-59-2979

橋口譲二写真集「視線」應典院にて販売中

オープニングを飾っていただいた橋口穣二さんのデビュー作品ともいえる「視線」が、写真集となって発売されました。應典院にて販売中です。

サリュ VOL.6　應典院寺町倶楽部のニューズレター

発行日　1998年２月25日（偶数月発行）
編集長　金下玲子
編集スタッフ　池野　亮、綾田直子

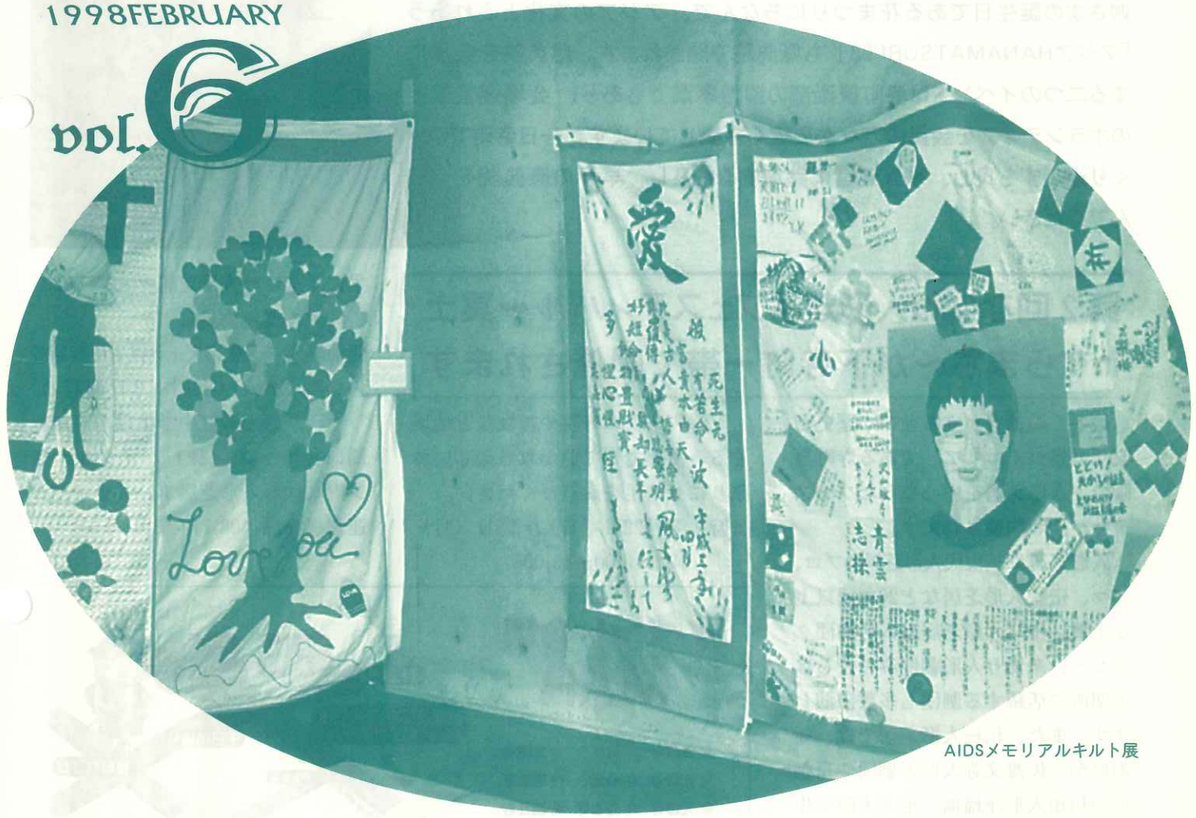
発行所　應典院寺町倶楽部
〒543-0076大阪市天王寺区下寺町1-1-27
TEL06-771-7641
FAX06-770-3147

應典院寺町倶楽部のニューズレター

Salut

［サリュ］
フランス語で救いの意

1998FEBRUARY
vol.6



AIDSメモリアルキルト展

先日、地下鉄谷町線の四天王寺前駅から口縄坂を降りて應典院まで歩いてみました。日本橋や谷町九丁目から向かうよりは遠回りですが、風情があり、大阪にもこんなに良い坂があるのだな、と思いました。

さて、３月は應典院から一心寺までの下寺町全体が会場となる「第２回なにわ人形芝居フェスティバル」が開催されます。期間中、應典院でもさまざまな催しが行われますので、ぜひ覗きに来てください。その時は、ちょっと遠回りして、坂をいくつか上り下りされることをお勧めします。きっとお気に入りの散歩道になることと思います。

應典院・賑・寺町界隈



3月末から4月にかけての應典院と下寺町界隈は、楽しい企画が目白押しです。

寺町一帯では「第2回なにわ人形芝居フェスティバル」が、またフェスティバルの期間を含む春のお彼岸の一週間は、應典院が手づくり博物館に変身する「寺町ミュージアム」が開催されます。続いて、お釈迦さまの誕生日である花まつりにちなんで、アジアの文化とふれあう「アジアHANAMATSURI'98」も應典院で開かれます。應典院を会場にする二つのイベントは寺町倶楽部の協力事業でもあり、会場運営などのボランティアを会員の方々から広く募集しています。一日寺町でゆっくり過ごすも良し、事業運営に参加するも良し。早春の應典院を楽しんでください。

第2回なにわ人形芝居フェスティバル～冥土inてらまち～が下寺町一帯で開催されます

数多くの社寺が立ち並び“歴史と文化の息づくエリア”である寺町界隈で、人形芝居を中心にしたフェスティバルが開催されます。

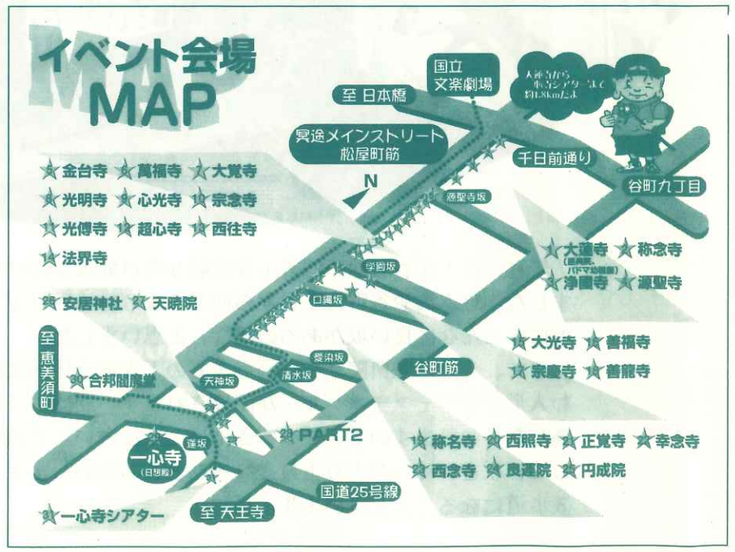
人形芝居は、現代人形芝居のプロ、アマ、伝統人形芝居など20劇団以上が上演。現代人形芝居は人形劇団クラルテ、糸操り人形劇団みのむしなど関西で活躍する劇団も多数出演します。また、伝統人形芝居では、新潟県から佐渡文弥人形の劇団や京都府の和知人形浄瑠璃、地元大阪で生まれた女性一人の操り人形乙女文楽などを観ることができます。

人形芝居の他にもフリーマーケットや、お寺を巡るスタンプラリーが実施されます。また、普段は観ることができないお寺も開放されていますので、この機会にのんびりと拝観することもできます。

下寺町一帯の寺院や神社など地域ぐるみで協力して開かれる楽しいお祭りにぜひ足をお運びください。

日時：3月22日（日）・23日（月）
両日10:00～15:00

主催：なにわ人形芝居フェスティバル運営委員会
開催場所：大阪市天王寺区下寺町界隈
入場料：大人1,000円（2日間有効）
子ども（中学生以下）無料
問い合わせは、（株）バイタルサイン内なにわ人形芝居フェスティバル運営事務局（06-772-5391）まで。



寺町ミュージアム

寺町の北の玄関口になる應典院では「なにわ人形芝居フェスティバル」の開催期間を含む春の彼岸期間中に、寺町にまつわる情報が一杯の「寺町ミュージアム」が開催されます。特に22・23両日は、人形芝居フェスに併せてのスペシャルプログラム「寺町ライブミュージアム」が用意されています。

■寺町ミュージアム

日時：3月18日（水）～24日（火）
毎日10:00～17:00
会場：應典院
主催：應典院
参加：無料（一部有料）
内容：・寺町の過去・現在・未来を紹介した特別パネル展
・寺町に関する史料展示
・寺町の現在を紹介したビデオ「ウオーク・イン・TERAMACHI」の上映
・寺町に関する書籍などの販売
・仏画家松原由紀子さんの三尊仏壁画展示
・凧の会「凧人」の濱田将さんの凧づくり教室（要実費）

■寺町ライブミュージアム

日時：3月22日（日）・23日（月）
両日10:00～15:00の間随時
会場：應典院本堂ホール・山内
参加：無料（一部有料）
内容：・應典院住職のスライドトーク「寺町物語」
・ドキドキ考古学の浜田容子さん「スライドキャラバン隊」
・岡崎峻さんの人形パフォーマンス
・柱祭蝶さんの上方落語
・子どもの寺町アート展示
※一部22日のみ実施

★寺町アートワークショップ
参加者募集★

寺町の風景や環境、歴史や人にふれ、子どもたちといっしょに「もうひとつの寺町」をつくるワークショップを実施します。作品展示は應典院で22～24日。

日時・内容：3月15日（日）
「寺まち探検隊」
3月21日（祝）
「寺まち工作隊」
両日10:00～15:00
対象：小学新3年生～新6年生
※15・21両日、あるいは15日のみ参加できる人。親子参加歓迎。

アジアHANAMATSURI'98

アジアで広く行われている仏教のお祭り「花まつり」（4月8日）にちなんだイベントが、4月4日（土）に應典院で行われます。

アジアの生活に大きな影響を与えている仏教の寺院を舞台に、子どもの遊び、大人の暮らしぶり、人生の終焉など、アジアの人々の暮らしを再現。さまざまな角度からアジアの文化とふれあう機会を盛り込み、子どもから大人まで楽しめるお祭りをつくろうという試みです。

日時：4月4日（土）11:00～17:00
主催：アーユス関西・多文化共生センター
参加：無料（一部有料予定）
内容：・宗派を越えた花まつりの法要
・アジアのおもちゃや遊びの体験コーナー
・フィリピン、タイなどの料理や民芸品の出店
・アジアの民族衣装の試着コーナー

その他、舞台を使ったワークショップ「生前葬」やアジアで活動するNGOの報告会なども予定。

癒しの森フォーラムがフィールドWSを実施

寺町倶楽部の団体会員である、癒しの森フォーラム実行委員会が人形芝居フェスの期間中、フィールドワークショップを開きます。

日時：3月22日（日）10:00～15:00
（午前・午後各1回。1回の所要時間は約2時間）
場所：受付・集合場所；應典院インフォメーション前
実施場所：心光寺（應典院から南へ5分）裏山樹林地
内容：ワークショップ「森の小人たちとの出会い」（冬芽の観察や木の枝を使ったおもちゃづくりなど）
対象：小学生（低学年の場合は保護者同伴）
人数：1回につき10～12人
参加費：無料（草木おもちゃは実費）
問い合わせ：寺町倶楽部（06-771-7641）

寺町ライブミュージアム・アジアHANAMATSURI'98 ボランティア募集

☆寺町ライブミュージアム
日時：3月22・23日9:00～16:00
（終日参加できる人）
内容：本堂ホールライブの進行
その他催しの手伝い
人数：22日10人／23日5人
※交通費は支給できません
昼食は出ます

事前の交流会・レクチャーを3月21日に実施します。（時間は未定）

☆アジアHANAMATSURI'98
日時：4月4日11:00～19:00
内容：事務局手伝い、舞台制作
人数：各2人
※詳細は未定

問い合わせは應典院（池野）まで

次年度の活動方針にご意見を！
～アンケートにご協力ありがとうございました

■次年度の“倶楽部活動”

２号に渡ってお願いしたアンケートですが、返信総数は５０通、数々の貴重な意見を頂くことができました。ご協力ありがとうございました。

そろそろ、次年度の活動計画を立案しなければならない時期にきているのですが、できる限りアンケートに記されたご意見を反映させながら計画していきたいと考えています。

■少し肩の力を抜いて

アンケートの“寺町倶楽部に関するご意見、ご希望”でもっとも多かったのは「ぼうっとできる空間」「仲間と楽しく語り合える場所」にしていきたいといったご希望でした。

社会問題や時事問題を討議したいというご意見も寄せられていますが、多くの方は“目的をがちっと決めず、まず会うこと”から始めたいと考えておられるようです。

また、返信総数のちょうど半分が四十代～六十代の男性でした。「熟年男の駆け込み寺」「お寺さんの話を聞きたい」といった声に応える意味でも、互いに語り合える機会を増やしていきたいと思います。

■誰もが気軽に

その意味では、今年度の寺子屋トークはレクチャー形式ばかりで少し「難しすぎる」内容だったと反省しております。

例えば「上町台地を散歩する」といった“気軽な交流会”から始め、親睦を深める中で興味が深まれば、会員のリクエストに従って上町台地の歴史に詳しいゲストを迎え入れていく、といった方針で進めていこうと考えています。

また三十代女性からの「子ども連れでも気軽に参加できる企画を」という要望も強く、家族で参加できるようなイベントも考えていきたいと思います。

日曜日や祝日の開催ともあわせて、考慮していこうと思います。

■ゆっくりと、着実に

時間はかかるかもしれませんが、「コーラスグループを作りたい」「映画鑑賞会を開きたい」といった、仲間を求める声と声との橋渡しとなるためにも、事務局はできる限り交流の機会を設け、仲間を見つけ、会員同士の交流から想いを形にしていくお手伝いができればと思っています。

また今後のイベントでは、会場の受付や簡単な事務などを会員のボランティアで支えるような形を作っていきたいと思いますので、その節にはご協力頂けますようにお願いします。

このような活動方針は理事会を経て総会で決議いたしますが、その開催までには、まだ時間があります。引き続き、ご意見やご希望を事務局にお寄せ頂ければ幸いです。ゆっくり着実に、寺町倶楽部を育てましょう！

EVENTREPORT

第７回寺子屋トーク

第７回寺子屋トークは、12月９日に京都大学助教授のカールベッカーさんの講演「子どものこころは死んでいるか～生死を悟るこころを育む」を開催、116人が参加しました。

ベッカーさんは、現代日本人のこころと体の問題、幸福観、環境問題、そしてベッカーさんの専門である生死観、臨死体験研究を交えて、私たちは子どもに何を伝え、どのようなこころを育んでいけばよいのかを話されました。

「幸福」には、衣食住が満たされる動物的幸福、物を所有することによる子ども的幸福、そして自分がもらうより与えることをよかったと思える大人の幸福があり、大人の幸福は繰り返しても飽きない幸せであるという見方。また、環境問題の観点から、すべてが循環していることを考えれば自分の使う物の選択が決まってきて、謙虚、慎重になれるという発想。不必要の物を買え、という刺激に対して、要らないといえる発想。ベッカーさんは、このような発想や見方を持ち、（偏差値などの）従来の目標ではない「どういうこころの持ち主になりたいのか」「大人の幸福を味わうことのできる人間になって欲しい」ということを子どもともっと話して欲しいと強調されました。

「『人生のみどりの窓口』でどこでもよいから切符をください、という目標のない生き方をしていませんか」というベッカーさんからの問いかけに肩を叩かれたような気持ちになった人も多かったのではないでしょうか。

秋田住職発 應典院掲示板

春の声も間近に聞こえだし、ホンワカ天気のつづく季節になりました。おかげさまで、最近は会場利用のお申込みも多く、若い劇団をはじめ、ＮＰＯやボランティア団体など、さまざまな「お客さん」で連日にぎわっています。

先月には、雑誌「ウェディング」に、新しいブライダル会場として紹介されて、ちらほら下見のお電話をいただいたりします。簡素でも、仏式の心のこもった式をつくりあげようと、スタッフ一同思案中ですので、もしご計画の方があれば、一度相談なさってみてください。

應典院の「お客さん」は、だいじなつながりを残してくれる人たち。寺町倶楽部もいっしょに、夢のある空間づくりができたらいいな、と思っています。（彦）

■自分感謝祭に65名の参加

一年の終わりに、自分自身を謙虚にふりかえり、感謝を表そうと、昨年12月26日に、應典院初のオリジナル音楽法要「自分感謝祭」が開催、「自分癒し」をテーマに活動を続けた應典院にふさわしい、新感覚の儀式となりました。65名参加。



電子オルガンの厳かな調べ（演奏は倶楽部の会員藤田礼子さん）のなか、献灯献香で開式、「般若心経」の奉読、ぼくのファイナル・メッセージ（説教）、懺悔浄梵（さんげじょうぼん）、最後に黙祷、と全体で一時間弱の内容。とくに、懺悔浄梵は、参加者一人ひとりが、懺悔カードを火にくべ、また感謝カードを仏前に供え、儀式のクライマックスとなりました。

紙幅の都合でここにはご紹介できませんが、感謝カードのどれにも自分の正直な思いが綴られており、祈りや鎮めを感じさせる、感動的なものばかりでした。死者のための儀式ではなく、生きる人のための儀式はぼくにとっても、念願だったもの。小さくても、年々重ねて定着していけば、いいなと思っています。

今年も、12月26日（土）に行いますので、ぜひご予定ください。

■早春のＮＧＯイベント２本に協力

２月には、16日から１週間、メモリアルキルト展が、また21日には「ニッポン研修体験記」が、それぞれ應典院で開催されました。

前者は、エイズで亡くなった人のメモリアルとして作製されたキルト展で、'87年にアメリカで始まった世界的な運動の一環。２階のロビー狭しと、たくさんのキルトが展示され毎日エイズに関するワークショップが開催されました。主催は、メモリアルキルト・ジャパン。

「ニッポン研究体験記」は、ＮＧＯの招きで日本にやってきた若い研修生－タイのアンポンさん、ネパールのサビトリさん－を招き、１年間の日本研修で何を学び、何を感じたか、彼らの体験発表に耳を傾けました。主催はアーユス関西。

■トークサロンのお知らせ

恒例のトークサロン、２月は13名の参加、発題は「幸せとは」「加齢」「気のある場所」「常識」の４題で話し合いました。サロンの仲間で４月に夜桜見物の提案も持ち上がっています（詳しくは事務局まで）。

今後の日程は……

・３月18日(水)19時～　・４月11日(土)14時～
・４月15日(水)19時～

ですので、お間違いなきよう。

お友だち誘って、ぜひご参加ください。

■東京大学の佐藤学さん、登場

最近読んだ本で痛く感激した「学び－その死と再生」の著者・佐藤学さんが、３月26日18時半～、應典院で開催の教育フォーラムで登場します。

佐藤さんは、東京大学教育学部教授で、月刊「ひと」の編集委員、癒しと学び、身体と学びの論を提起されています（ＮＨＫの教育トゥデイでも、おなじみです）。主催は大阪市社会教育主事会ですが、広く教育をとらえて、教師・親・市民と語りあう場となります。なお、僭越ながら、ぼくもパネリストのひとりとして参加します。

問い合わせは、應典院まで。参加料 500円。

應典院でチケット販売開始

應典院にて開催される催しに限り、カウンターでのチケット販売を開始します。販売チケットについては、お問い合わせください。また、應典院にて催しをされる方も、ぜひご相談ください。